



静岡県立沼津商業高等学校同窓会
〒411-0917
静岡県駿東郡清水町徳倉1205
TEL 055-932-5747 (FAX共用)

明石海人と本居長世
潮の音プロムナードの歌碑



笠井幸子
(定高九回)

今から十一年前、六五歳の時に「ぬまづ観光ボランティアガイド」の会に入会しました。きっかけは好きな趣味を楽しみ、地域の役員活動をしていたそんな時、『広報ぬまづ』の、観光ボランティアガイド募集に応募したのです。

私たちが案内する観光スポットは紙面の関係で、すべては紹介できませんが、母校に関係する歌碑二ヶ所を紹介させていただきます。『駿河の入り海』で始まる母校の旧校舎は、本居長世が大正一四(一九二五)年に作曲したものです。長世は、「七つの子」、「青い目の人形」、「十五やお月さん」、「汽車ポッポ」と沢山の童謡の作曲を残し、日本の童謡の父と云われています。長世は大正から昭和一四年頃まで、毎年夏になると西間門にあつ

た義兄(妻の兄)本間家へ家族とともに長期滞在していました。

当時の沼商の向かいには加藤精肉店があつて、その二階を毎年借りていた、と三女の若葉さんから懐かしそうにお聞きしました。

また「汽車ポッポ」の歌は東京から東海道線で往来した際に、山北から御殿場へ坂を登る列車の中で、詩と曲を一気に書き上げた作品で、若葉さんがレコードに吹き込んだそうです。長世の顕彰碑は千本港口公園にあります。

もう一ヶ所は新万葉歌人と云われ、『新・百人一首 近現代短歌ベスト一〇〇』にも選ばれた「明石海人」の歌碑です。碑は千本公園の入り口左側にあります。

この歌碑は平成一三年に母校の創立百周年記念事業の一つとして、同窓会と全国の人々から寄せられた寄付金により建立されました。ご承知のように明石海人は本名を野口勝太郎と云い、母校の旧制一七回生です。

明石海人は沼津市の西間門に生まれ、沼津商業学校を経て静岡師範学校(現在の静岡大学教育学部)

に学び、小学校の先生になり、結婚しますが、二五歳の時に、まさに青天の霹靂、ハンセン病(らい病)と診断されます。

当時の社会環境はハンセン病の治療法も分からず、国の誤った政策により、その病に罹ると家族とも絶縁状態におかれ、さらに生誕地も実名もかくし治療という名で施設に収容されて行きました。

そして明石海人は各地で転々と療養を繰り返し最後に岡山の長島愛生園に収容されます。

長島愛生園で明石海人は短歌に出会い、短歌に活路を見いだして行きます。さらに明石海人は長島愛生園で知覚麻痺、失明、呼吸困難による気管切開という三重苦の闘病生活を送りますが、療養仲間への献身的な理解と応援もあり、数多くの短歌を作って行きます。



「さくら花か 散る今日の
つ 散る底より
か 幾世のなるくる
たぐれを 鐘のなるくる」
と刻まれた千本公園の歌碑

そして明石海人は、昭和一四年六月に黄泉の国に旅立ちますが、その年の二月には当時二五万部のベストセラーとなった『白描』を上梓しました。

明石海人の歌碑の前でガイドする時、彼への敬意とその生き様は涙なくしては語れません。

今年の同窓会総会・懇親会は
七月一九日(土)開催です。

～ありがとう

ときめき・輝く、沼商をスローガンに第61回総会・懇親会が行われます。

開催日 七月一九日(土)

場所 ホテル沼津キャッスル

受付 一二時三〇分

総会 一三時三〇分

講演会 一五時

講師 三島オート販売(株)
澤田 稔さん(高八回)

演題 『人生模様』

懇親会 一六時三〇分～十八時三〇分

会費 七〇〇〇円

(事前振込は六五〇〇円。払込は郵便振替 〇〇八一〇一丁二四七一〇「第61回沼商同窓会総会」まで)

詳細は代表幹事の小澤淳市さん(〇九〇一四四〇二六六二三)まで。

沼商OB美術十周年記念展
実行委員会

沼商OB十周年記念展は六月五日(木)～六月十一日(水)まで沼津市大手町しずぎんギャラリー四季で開催されます。今回は特別展としてOB展と在校生の合同展を企画しております。作品も充実しメディアに注目されるまでに発展してきました。以前出品してくださった方や新しい同窓生にも協力をお願いします。

「丸子の杜」…1921(大正10)年、いまの沼津市立第一小学校西隣から沼津市丸子町に移転した沼商の校地の北側には、鬱蒼と茂る式内丸子神社の鎮守の森があり、それを沼商の象徴とし「丸子の杜」と呼ぶようになった。

大島渚を支えた 先輩歌人石海人のことば



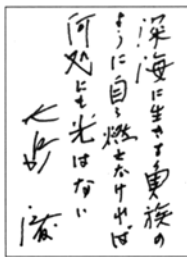
小柴 清
(高四回)

鎌倉建長寺・回春院に、映画監督大島渚監督が生前に建立した「メモリアルストーン」がある。

その碑には大島渚が大学生の頃出あった明石海人の歌集『白描』の序文の一文が監督の自筆で刻まれている。

大島渚監督自筆の

『白描』の一節



問は平成二〇年、私の属する「ぬまづがイド会」と「鎌倉会」との交流がきっかけ

となっている。

今回の目的は、平成二五年一月一五日に逝去された大島監督（八〇歳）の墓参と回春院高井志堂ご住職を訪ねることだった。

『四十九日の法要が済んだ後ではつとしています』と葬儀参列者への喪主大島明子名の会葬礼状をいただく、その一部に

「左に記しましたのは歌人・明石海人の詩でございます。大島はこの歌が好きでよく書いていました。二人で行きました鎌倉建長寺・回春院に、結婚四五年を記念し

イサムノグチのパートナー和泉正敬さんに創って頂きましたメモリアルストーンに刻まれております。機会がございましたら訪れて頂ければ幸いです。』とあった。

私は、大島監督が、このように海人の言葉を座右の銘として残し広めていただいていることに強く感動した。沼商百年誌に、「私の明石海人」と題し、これを呪文として青春を生きてきたと監督の寄稿にある。それを是非再読してほしい。

テレビなどで明子夫人は、平成八年、脳梗塞で倒れた監督の介護に専念されたことに触れている。

『五二年の夫婦生活のうち、三分の一は介護でした。料理をしたことと自分の責め、介護鬱になったこともありました。』しかし一七年間の介護がちつともイヤでなかった。それは人間、大島渚に惚れていたから』と云っており、介護の難しさ、愛の尊さを知らされた。

瀬戸内の笠岡で生まれて「渚」と命名され、この地にあった深海の石碑の下で眠る大島監督は、ここでも海人に通ずるものがあると思う。



ア海人の書名「白描」のメメントモリとして大島渚監督の墓に建てられた塔婆

映画人大島渚の反骨は

「湯」の字太く塔婆に書かれ

(清詠む)

何でもチャレンジ



山本絵美子
(高五二回)

今から三年前のことです。

私は沼津市立勤労青少年ホームへ通っていました。この青少年ホームは教養講座を通し、青少年同士のコミュニケーションを育む場所です。

そこでボランティアの募集広告を見たのです。毎年五月の狩野川で掲揚している、こいのぼりフェスティバルで私達と一緒に活動しませんか？と。私はこいのぼりフェスティバルは市役所の方達が中心に活動していると思い込んでいたので、新しい発見でした。

広告を見た私は誰かこのボランティアについて知っている人はいないものか、一人で問い合わせるのも勇気がいる。チャンスはすぐにやってきました。ボランティアの方達が活動の紹介として来ていたのです。聞けば皆さんは勤労青少年ホームの講座生ということもあり、年齢も離れていなく、話を聞くというよりはその場の雰囲気と会話で楽しい時間を過ごせました。この中に入ればもっと友達が増えるだろう、充実した日を過ごせるだろうと問い合わせするだけのつもりが、私はこれから入

る意気込みになっていたのです。あら不思議。

ボランティアの紹介をしていた方はこちら私とは違うきっかけで参加した人、友達がボランティア団体に入っていて一緒に来ている人、職業も違う、年齢も違う人たちが集まっていました。活動の方はというとこいのぼりフェスティバルに向け、来場者の子供達に楽しんでもらえる様な事を提案したり、決まっていることの準備をしたり。

ボランティアに入ろうか迷っていた時の予測とおり、充実な日々を過ごせることが出来、それにこいのぼりフェスティバルに向かつて楽しんで準備をしていこうと仲間も増えました。

ボランティアを通して友達になった彼女達。彼女達には共通する点がありました。

それは興味のある事には何でもチャレンジするということ。失敗を恐れない姿勢です。私はそんな彼女達に会うといつも刺激を受けます。私も何かやってみようチャレンジしてみようと。彼女達は私の友達であり、尊敬できる先生であり、目標です。

私は学生時代からの友人はいませんが、こいのぼりフェスティバルのボランティアに参加することによって昔から自分のことを知っている友達・仲間に出会ったような気がします。

■ 社会人となつて



齋藤菜津実

(高六五回)

高校三年間は部活・勉強に一生懸命取り組みました。資格も多く取得したいと思い簿記部に入り、簿記の資格や大会に向けて勉強しました。初めは分からないことばかりで結果を残せなかったのですが、先生や同級生に教えてもらい、大きな大会にも出ることができました。簿記の大会では同じ目標に向かって頑張っている人たちが多くいて、その姿を見て学んだことも多かったです。簿記以外にも放課後の補習に出たり時間を使って資格取得に励みました。同級生や友だちの頑張っている姿を見たり、一緒に勉強したりして、よい刺激を受けながら勉強できました。合格した時はとても嬉しく、よい結果を出せなかった時は悔しく、もっと頑張ろうと思えました。進路については周りの先生が相談のようになって、進路先や勉強方法について沢山教えて下さいました。

働くことが大変だということを実感しました。辛いことや悩むこともありますが、職場の先輩の話を聞いたり、自分なりにどうすべきなのか考えて日々頑張っています。社会人となった今、まだまだ自分の足りないところが見えてきて、毎日が勉強です。大変だと感じたことも多かったのですが、高校で学んだことは全て自分につながっています。時間を多くかけてきた分、自分に自信を持ち、周りのよいところをたくさん吸収して、もっと挑戦して行きたいです。仕事においても私は目標を持つようにしています。どんな小さな事でも目標を持って一生懸命頑張ることが大切なんだと高校生活を通して知ることができました。また私には大切な家族や友人がいます。いつも私の味方でいてくれる家族や一緒に心が和み、楽しませてくれる友人など、いつも支えてくれる人たちには感謝しています。

社会人となり約半年が経ちましたが、この短い期間で家族や周りの方々の存在の大きさを改めて感じる事ができました。そんな方々に恩返しできるように、今まで学んだことや体験したこと、感じたことを忘れずに、次に生かしてもっと成長できるように頑張りたいと思います。

■ 目標に向かって



浅野涼子

(高六五回)

私は高校を卒業したら就職をしたいと考え、沼商に入學しました。そして、一年生の頃に三島信用金庫に就職することを目標として努力してきました。日々の勉強や部活など辛いと思ったことも多くありましたが、この目標があったことで、高校三年間を頑張りがきることができたのだと思っています。

私が目標の場所に就職するため一番努力したことは、勉強面です。沼商では資格取得に積極的な生徒が多く、先生方も熱心に指導してくださるため、資格を取得するのに非常に適した環境だったと思います。就職が決まった際に、簿記の資格を目指しました。簿記の資格が情報ビジネス科でもあり、学費が情報ビジネス科でもありません。あまり簿記の勉強はしていませんでした。しかし、わからないことは私が理解するまで丁寧に教えてくださる先生方のサポートのおかげで無事合格することができました。現在この簿記の資格を取得しておいたことで、仕事上の業務に役立てることができているため、先生方にはとても感謝をしています。

ます。

私は現在、目標であった三島信用金庫に入庫することができ、事務系として働いています。主に為替業務を担当しており、お客様から依頼された振り込みの処理などを行っています。最近では、短い時間ではありませんが、窓口でお客様の対応をさせていただくようになりました。

私が担当している仕事は振り込みの関係から、他の金融機関と関わる事が多く、また、お金を動かす仕事であるため、とても責任の重い仕事です。初めは、先輩に教えて頂きながら行っていた仕事も、今では日常の為替業務はほとんど一人でできるようになりました。しかし、慣れてきた業務だからこそ、日々ミスをしないか緊張感を持ちながら仕事を行うよう心がけています。接待業務では、お客様に対する挨拶の音が一番大きいと支店長にほめて頂きました。そして、「浅野さんが声を出すと皆が出すからこれからも挨拶頑張つてね」とも声を掛けていただきました。これも、部活で先生方に挨拶の大切さを指導していただいたおかげだと思います。

沼商で学んだこと、努力したことは、すべて今の私の元となっていると思います。これからも沼商で学んだことを武器に、社会人として更に成長できるように、日々努力して行きたいと思っています。

絵師・歌川國秀を追って



長澤利之 (高三回)

沼津市職員として昨年定年を迎えたが、歴史専門家でもない私がある時期郷土の歴史的な人物像を追い求め、報告論文にまとめたことがあったので紹介したい。

それは昭和五七年頃で、当時御用邸記念公園内にある沼津市歴史民俗資料館に勤務していた。

その年の特別展は、「郷土の絵馬」展として企画され、絵馬の歴史や意義、郷土の絵馬の特色を明らかにするため、職員が分担して、静岡県東部から伊豆一円の神社や寺院に奉納された絵馬をくまなく調査し、特徴的な絵馬を借用して展示しようとする試みであった。

この絵馬の特別展調査を通して、この地方に活躍したある絵師の存在が浮かび上がってきた。

奉納された大絵馬には「歌川國秀」「歌川一運齋國秀」「一運齋國秀」などの銘が記され、中には「沼津住」と肩書きされるものもあった。その活躍の範囲は沼津地方を中心に伊豆中部から北駿、富士宮地方まで及び沼商のかつての通学範囲に重なっている。その作品の数量は、無銘のものも含めると、

三七一点に及び、特別展のために調査した絵馬の実に三分の一に及んだ。

画題も豊富で、海岸地方の神社には、「建切網漁」等の漁法を描くもの、安全祈願の難船を描いたもの、大漁祈願や豊漁を祝うものがあり、神社を通じた画題には、神功皇后図、天ノ岩戸図、牛若丹慶や源頼政ぬえ退治等の武者絵、伊勢参りの巡礼図、出征兵士の武運長久を祈った軍人祈願図などがある。日清戦争、日露戦争の凱旋兵士が奉納した戦役図も勇壮である。寺院にも、地獄極楽図や観音霊場巡礼図、消防組図などがあるが、中でも日蓮宗の各寺院に奉納された日蓮上人一代絵は最も数が多く、土肥平野の清運寺の九〇枚、沼津市平沼法華寺の七五枚、長泉町竹原の法善寺六八枚などが圧巻である。

これらは、いずれも明治時代に奉納されたもので、その人物像について、追跡が開始された。



戦前の百二十反曼茶羅 (沼津市広報課提供)

地元の伝承などから、この人物は、「浜の観音さん」で知られる千本観音長谷寺の「百二十反曼茶羅」

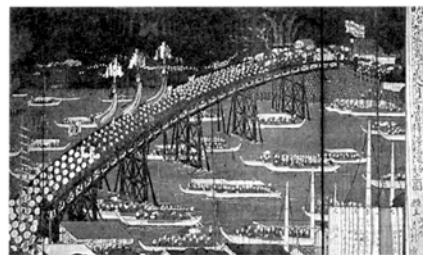
の観音像を描いた人であるという。現在の浜の観音さんの縁日に飾られる大曼茶羅は、昭和六〇年に日本画家志賀旦山氏によって書き改められたものであるが、その前代のもものが、明治八（一八七五）年五月に帆布に描かれた観音立像の百二十反曼茶羅であり、その銘には菊池金平政広という國秀の本名が記されている。

同寺には、明治九（一八七六）年の沼津湊橋の渡り初めを描いた絵馬や百二十反曼茶羅を描く國秀自身を描いた絵馬が残されている。



観音書写図 (千本・稲久山長谷寺) (写真提供：沼津市歴史民俗資料館)

この人は市道町辺りの長屋に住み、「たこたつ」さんの名で呼ばれていたといい、その名が示す通り、普段は風絵を生業にしていたという。市道町界隈では、かつてあちこちの家にたこたつさんの風絵や祝事の絵が残されていたが殆どのが戦災で焼失してしまっただけという。



観音書写図 (千本・稲久山長谷寺) (写真提供：沼津市歴史民俗資料館)

山王台の日枝神社には、例大祭の行列を描いた絵巻物三巻が残されている。國秀は晩年にも

富士宮で大曼茶羅を描いたといわれ、富士宮市星山の大悟庵を訪ねたところ、國秀の描いた大曼茶羅はすでに後世の画家に描き改められて現存しなかったものの、境内の一角に、「國秀翁碑」と書かれた石碑を発見。その碑文は國秀の業績を顕彰するもので、明治四二（一九〇九）年に六八歳で他界したと書かれていた。逆算すると天保一二・三年ごろ生まれであり、活躍時期は、残された絵馬の年代からすると、明治八年頃からだだが、風絵などはもう少し早い時期であったかも知れない。

その後、菊池金平の子孫に関係する戸籍が発見され、千葉県流山市に子孫を訪ねることができ、そのお話から、墓所が下河原町の妙覚寺で発見された。詳細は沼津市歴史民俗資料館紀要8の拙稿をご覧いただきたいが、神社寺院を訪れる際には、奉納絵馬にご注目してみて頂きたい

支店だより

◆富士支部◆

「沼商ふじの会」活動状況

会長 坂本 實(高一一回)

沼商ふじの会も平成一四年発足以来一一年となりました。会員相互の関係を大切にしつつ、地域への貢献を目指した活動を推進する所存です。

本年度活動の始として富士山麓ブナ林創造事業に参加しました。会員家族を含め四十余名が植樹し楽しい行事



植樹会に参加しました。

参加となりました。六月三日には総会を開催し同窓会長、校長先生を始め本部役員の臨席をいただき、盛会裡に終わることができました。文化事業として実施してきたコンサートと寄席は本年は休会として、今後の方策を検討いたします。

懇親会には地元企業で活躍しておられる前田弘之氏を講師にお招きし「エコ」、「減災」等をテーマに身近な問題を解説していただきました。会員相互の親睦を図るゴルフ会には十五名が参加し楽しくプレーすることが出来ました。

役員の老齢化、男女比率の変化

等地域活動に支障が見られます。会員の工夫研究により充実した支部活動を図る所存です。

◆御殿場支部◆

支部活動状況

支部長 勝又 英男(高四回)

十一月一六日、支部総会を開催。来賓に宇佐美同窓会会長、岩崎副会長、児玉教頭先生をお迎えし、親睦を深めました。支部会長は勝又会長から長島新会長に交代することが決定されました。記念講演はスーパーマーケット「三徳」の社長、会長を歴任された斎藤陽三さん(一七回卒)に、スーパーマーケット業界について語ってもらいました。

斎藤さんは、食に対する「健康・安全・美味」と「企業は人なり」の信念をもとに、四四年間にわたって社の発展に尽くされました。三徳は安全で美味しい食品を提供するため、早くから自社商品の開発し、独自性を発揮してきました。大手の攻勢にも対抗し、商品を加盟店が共同開発する「CGCジャパン」を設立。斎藤さんも強固な組織作りに尽力され、現在は三徳単体で年商四〇〇億円。CGCジャパンは年商四兆三〇〇〇億円、二三〇社が加盟する組織に成長。仏教に深い造詣のある三徳の創業者・堀内貞良さんは、私財を投じて御殿場に富士仏舎利塔を建立されました。そして、三徳の社員は、冬になると御殿場市内を練り

歩く「寒行」を経験します。仏舎利塔は創業者の信念を受け継ぎ、心の修行を積む場としての役割も果たしているそうです。創業者の思いがしっかり根付いた組織であること、そして斎藤さんの「世のため、人のため」という、人間として真理を大事にしている人柄に、深い感銘を受けた講演でした。

◆裾野支部◆

地元中学校長を招き

深良(箱根)用水の講演会

支部長 杉本 和男(高一五回)

裾野支部は六月二六日に支部総会を開催。総会では大橋裾野市長をはじめ高田沼商校長、宇佐美同窓会会長をお迎えし祝辞をいただき、二四年度の事業報告、決算報告、二五年度予算が承認された。

総会では記念講演を開催。昨年度地域貢献事業の一環として、市内深良中学校が取り組んでいる「いのちの用水」の衣装資器材の一部として寄附した縁から講師に同校校長鈴木史良氏を招き、演題に「創作劇『いのちの用水』について」講演された。講演では、三五〇年前に、箱根芦ノ湖から隧道を掘り水を引いた歴史的遺産深良用水の、先人の偉業を顕彰する創作劇を学習に取り入れるなかで、困難を乗り越え力を合わせ、豊かな学びで、世界に羽ばたく生徒を目指す教育の方針を語られた。そのなかで創作劇を立ち上げて

◆熱海支部◆

先輩方から学ぶこと

稲葉 最(高五七回)

私は沼商を卒業した後、地元の市役所に入所しました。同じ職場にいた沼商の先輩方に誘われて、丸子会に入りました。はじめて参加した総会では、ビッグ大会の景品が豪華で、とても盛り上がり、楽しかったことを覚えています。ご挨拶させていたただいた時は、すごく緊張しましたが、先輩方に優しい言葉をかけていただき、うれしかったです。

社会人になってから地元の沼商の先輩方と接する機会は、滅多にないことだと思います。年に数回しかお会いできませんが、私のことを覚えていてくださり、声をかけていただくことが嬉しいです。先輩方から昔の話を聞いて驚いたことや私の仕事についてアドバイスをいただいたことは、私にとって大きな力となっています。

今年度は大きな活動はありませんでしたが、これからの熱海支部の発展に少しでも貢献できたら、と思っています。

母校の今

設置学科・生徒数(H26・4月現在)

総合ビジネス科

1年 123名 (男22・女101)
2年 123名 (男28・女95)

国際ビジネス科

3年 161名 (男49・女112)

情報ビジネス科

1年 82名 (男30・女52)
2年 78名 (男36・女42)
3年 80名 (男33・女47)

地区別生徒数(H25・5月現在)

沼津市 316・三島市 107・清水町 92・函南街 36・伊豆の国市 28・長泉町 26・熱海市 12・裾野市 10・富士市 9・伊東市 3・御殿場市 2・富士宮市 2・伊豆市 1

学科の特色

総合・国際ビジネス科

簿記や情報処理及びマーケティングの基礎・基本を身につけ、商業の各分野をより専門的に深めた学習を進めます。

情報ビジネス科

情報処理関係の基礎・基本を身につけ、各種の国家試験合格を目指して学習を進めます。

第1回海外研修に参加して

期間 8月18日～22日
訪問国 台湾(台北)

研修生

(1年) 齋藤美桜里
(2年) 高木 理沙・竹垣 優
(3年) 廣岡 真輝・吉尾 雅貴
土屋 和洋

私たち6人は、沼商生代表として台湾で研修を行いました。日本とは違う地形・街・人々・空気なにもかもが新鮮で、毎日驚くような発見がありました。それと同時に今までの日常生活を改めて考えさせられました。

現地では、学生との交流や市街の見学を行いました。活動の中で私は我々も学ぶべきだと感じるものを見つけました。それは、現地の人々の積極的な生き様です。我々日本人は周りに流されやすいとよく聞きます。現地の人々が自分がやりたいことを、周りを気にせずに行動していたことに驚き且つ憧れを抱きました。私は消極的で周りと同じでないと心配になってしまいます。だからこそ、現地の個性あふれる色をした生き方と、日本から出て現地での生活を経験することで、日本を海外からのこの研修をこれからの生活の改善に生かしたいと思いました。

(1年 齋藤美桜里)

私たちは、第1回海外研修生として台湾へ行ってきました。台湾での5日間でカルチャーショックを起こしました。

台湾での食事は日本でもよく知られている、小籠包や春巻き・炒飯などを食べました。調味料だけでなく保存料の代わりにも使われている香辛料は独特の匂いと味を出していました。日本人の口にはあまり合わないようです。

新光三越という台湾の企業に所属している日本人の方が「これからの日本経済はグローバル化が進む、高校生の時に身に付けた英語力が勝負となるだろう。」とおっしゃっていました。

台湾の高校生との交流会は英語で会話をしました。私たちと台湾の生徒との英語力は明らかな差があることを感じました。書くことだけでなく聞いたり話したりすることも英語ではとても重要であることを改めて実感しました。

最後に海外研修を計画して下さい

つた同窓会の皆さま、サポートして下さい下さった先生方ありがとうございました。

(三年 土屋和洋)



「明石海人」の講演を聴いて

ハンセン氏病について自分で調べてみた。皮膚は赤色斑を生じ知覚麻痺を伴う。講演中でも、須永様がおっしゃられていたように、現在ではハンセン氏病になる人も少なく、又薬もあるので死に至る病気ではない。しかし、海人さんが宣告を受けた時には、周囲からも嫌われる病気であった。作品の中で「妻は母に母は父に言うわが病襖へだててその聲を聞く」は胸が苦しくなる。沼商の中庭にある歌碑は、入学してからすっかりと見たことはないけれど、夏の体験入学の時、中学生だった私は母と一緒に見た。今日は明石海人さんについてお話を聞き、沼津に住む私は一度千本浜にある歌碑を見に行きたいと思った。同窓会の須永様、今日は暑い体育館の中で、沼商生にお話して下さい、ありがとうございます。帰りに中庭の歌碑を見て行こうと思います。そして、図書館にあるという「白描」について読んでみたいと思います。

(1年 勝亦 美稀)

第13回校内短歌コンクール

◆最優秀賞

友情と砂に書いたその文字は
大きな波とともにかなたへ

(二年 内山 翔太)

活躍する部活

◆電算機部

全国情報科学競技大会(3月)

IP部門

団体の部 優勝(6連覇)

個人の部 優勝 廣川 萌花

〃 準優勝 池田 蒼

〃 第3位 吉田夢莉亜

SE部門

団体の部 優勝(2回目)

個人の部 優勝 吉尾 雅貴

〃 準優勝 室伏なつみ

全国情報処理選手権(8月)

団体の部 優勝(5連覇)

個人の部 優勝 吉尾 雅貴

私は、電算機部の部員として数多くの大会を経験しました。その中で特に印象深い大会は全国情報科学競技会と全国情報処理選手権です。この二つの大会は先輩方が連覇を成し遂げており、それは私たちが何年にも続く伝統を引き継ぐことを意味していました。そのため、大会当日は焦りや不安で震えが止まりませんでした。しかし顧問の先生が選手一人ひとりの手を力強く握り背中を押して下さいました。おかげで本番は落ち着いて臨むことができました。

普段の部活動では、後輩や部の仲間が、私たちが大会に向け学習に取り組めるよう、一日中大会の練習問題の準備に尽くしてくれる

こともありました。私たち選手が今まで頑張ることができたのは、仲間や先生方の支えがあったからだ」と改めて実感しました。

十一月には私たち三年生にとつて最後の大会である東海大会が控えています。選手全員が一丸となり、後輩たちに新たな伝統のたすきを繋げるよう力を尽くして行きたいと思えます。

(部長 室伏なつみ)



◆弓道部

全国高校総体団体 (8月)

全国高校選抜大会団体 (12月)

個人 鈴木萌菜美

8月1日から福岡の北九州市で行われた高校総体の全国大会に出場しました。沼商弓道部が全国大会に出場するのは、平成19年以來の六年ぶりです。全国出場は入部の当初からの夢でした。その夢が叶えられた嬉しさと、六年前の先輩達の全国優勝という結果に続きたいという新たな目標をみつけ日々の練習に励みました。

全国大会本番は、普段の県大会の雰囲気と緊張感は全く違いました。広く静かな会場で静岡県の団体代表として弓をひくというプレッシャーとの戦いでもありました。結果は残念でしたが、このような貴重な経験が一回でもできて幸せだったのだと思います。

これは先生方のご指導や弓道部員のサポート、友人や家族の応援があったからです。全国出場が決定したあと、沼商同窓会の方々や沼商生、先生方、清水町役場の方からとても温かい応援をいただき自信を持って会場に向かうことができました。周りで支えてくれたすべての人に感謝の気持ちで一杯です。

(部長 芹沢 彩海)



◆ホッケー部

全国選抜ホッケー大会(3月)

私達は、昨年の十二月に行われた東海選抜で全国大会の出場権を獲得しました。それから約三ヶ月の間、全国大会に向けてチーム一丸となって練習に取り組みました。

そして今年の三月二十二日から行われた全国大会での一回戦がインターハイで勝った伊万里商業でした。試合の前半から、緊張していたせいか、なかなか思うようにプレーができずに、三点も失点してしまい相手チームのペースで前半は終わってしまいました。

ハーフタイムに後半に向けて気持ちを切り替えました。後半も相手チームの流れを止める事が出来ず結果0-6で負けてしまいました。

私達はこの大会で沼商ホッケーが出来ず、また自分達の力の無さを痛感しました。この気持ちを今回で終わりにするのでなく、また周りで応援してくれている方々のためにも、次のインターハイに向けて、全員で頑張っていきたい、本来の沼商ホッケーをして、よい結果が出せるよう、日々練習に取り組みたいと思います。

(部長 汐入 由真)



24年度・25年度 連続出場

■今年も一九八名が
新会員に

平成二六年三月、男子卒業生七三名、女子卒業生一二五名の一九八名が新会員として登録されました。

事務局だより

平成二五年度決算報告

平成25年度 静岡県立沼津商業高等学校同窓会育英基金決算書
平成25年4月1日～平成26年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	92,406,977	25年度育英基金	2,437,398
25年度期間収益	515,918	次年度繰越	90,485,497
合計	92,922,895	合計	92,922,895

平成25年度 沼津商業振興育英基金決算書
平成25年4月1日～平成26年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度より繰越金	34,618,574	海外研修費	1,181,610
奨学生より返済金	2,018,758	25年度振込手数料	1,680
借入金	356,990	雑費	6,160
普通預金利息(元)	1,045	次年度繰越金	45,827,951
普通預金利息(返)	34		
寄附金	10,000,000		
雑収入	22,000		
合計	47,017,401	合計	47,017,401

平成25年度 静岡県立沼津商業高等学校同窓会育英基金決算報告書
平成25年4月1日～平成26年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
同窓会より奨学金	1,500,000	在校生給付金	1,500,000
同窓会より助成金	1,000,000	学校助成金	970,518
借入金	71	運営費	24,225
		育英基金へ繰越	5,328
合計	2,500,071	合計	2,500,071

平成25年度 沼津商業高等学校同窓会経常費会計決算書
平成25年4月1日～平成26年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	1,650,056	会報発行費	1,923,611
年会費収入	2,587,000	支払手数料	107,580
入会金	1,980,000	印刷代	26,775
役員会費	704,000	名簿作成費	145,845
受取利息	99	総会費	35,000
手数料収入	12,299	会議費	1,136,760
		事務消耗品費	125,644
		通信費	103,702
		人件費	744,000
		記念品代	131,460
		助成金	190,000
		慶弔見舞金	220,000
		旅費	105,000
		諸雑費	29,253
		次期繰越金	1,908,824
合計	6,933,454	合計	6,933,454

今期の新しい役員です

- | | |
|----|--------------|
| 顧問 | 大川 徳雄 (四九二回) |
| 顧問 | 金刺 実雄 (高五回) |
| 顧問 | 水上 博道 (高六回) |
| 顧問 | 小池 忠雄 (定高八回) |
| 顧問 | 高田 道雄 (学校長) |
| 顧問 | 大島 淑嗣 (四九二回) |
| 顧問 | 藤本 泰三 (高八回) |
| 顧問 | 廣瀬 忠男 (定高九回) |
| 顧問 | 中野 幸枝 (副校長) |
| 顧問 | 諏訪部俊光 (教頭) |
| 顧問 | 瀬戸 和代 (事務長) |
| 顧問 | 宇佐美文男 (高一五回) |
| 顧問 | 瀬川裕市郎 (高一〇回) |
| 顧問 | 坂倉 安藤 (高一二回) |
| 顧問 | 杉山 勝 (高一五回) |
| 顧問 | 岩崎 正幸 (高一六回) |
| 顧問 | 岩崎 英亮 (高一七回) |
| 顧問 | 川口 公文 (高一八回) |
| 顧問 | 遠藤 等 (高一二回) |
| 顧問 | 鴻野 剛 (高一二回) |
| 顧問 | 大石 平 (定高二七回) |
| 顧問 | 諏訪部善枝 (高一五回) |
| 顧問 | 太田きく江 (高一六回) |
| 顧問 | 加藤 敏子 (高一八回) |
| 顧問 | 佐野 友子 (高一九回) |
| 顧問 | 中島 恵子 (高二二回) |
| 顧問 | 田村 公子 (高二八回) |
| 顧問 | 植松 勝一 (高一二回) |
| 顧問 | 鈴木 幸雄 (高一三回) |
| 顧問 | 六一回総会・懇親会幹事 |
| 顧問 | 小澤 淳市 (高二四回) |
| 顧問 | 笹村美紀子 (高二三回) |

「沼商 明石海人の会」を立ち上げました

母校の百周年記念で立ち上げた「静岡県立沼津商業高等学校明石海人顕彰委員会」は、その事業終了時に解散し、それからおよそ一〇年間同窓会として、明石海人の顕彰を続けてきました。そんな折、二、三の会員から顕彰を継続して行くべきではないかとの提起があり、同窓会理事会で何回か協議・議論した結果、新に「沼商明石海人の会」として、明石海人の顕彰を継続して行くべきとの結論に至りました。そして、昨年一〇月一六日の常任幹事会で承認され、ここに同窓会委員会、「沼商明石海人の会」が発足しました。

今後は一日も早く「沼商 明石海人の会」が地にしっかりと足を着けて、自らの力で独り立ちできるように、努めて行きたいと考えております。会員諸兄の積極的なご協力を期待しています。

第一回 海外研修生が台湾へ

同窓会ではいままです「阿部奨学金」で大学進学を目指した母校の生徒に、相応の奨学金を貸与してきましたが、若い間の海外経験も重要と考え、奨学金の貸与に変えて、母校在校生に「海外研修」のための費用を助成することになりました。

その第一回目として、三泊四日の台湾研修が実施され、一年生から三年生まで六名が参加しました。第一回の研修旅行については本誌六頁に紹介されています。

今年も植樹祭に参加しました

柿田川涵養林保全のため今年も四月二九日に裾野の十里木の植樹祭に参加しました。学校関係者を始め在校生、同窓生など多くの方の参加が得られました。

母校教職員など移動がありました

今年も人事異動で母校の教員などが移動しました。他校などへ移られる方、長い間ご苦勞様でした。他校から来られた方母校生徒のため、同窓会活動にご協力下さい。

六六回生吉尾会員

沼津朝日新聞社の第五六回沼津朝日賞を高六六回生の吉尾雅貴会員が受賞しました。吉尾会員は在学中は電算機部に所属し、同部の全国情報科学競技大会六連覇の重要メンバーの一人でした。

同窓会への連絡や問い合わせは...

電話・ファックス兼用
〇五五・九三一・五七四七
(土・日・祝日を除く月・金の)
午前十一時～午後三時まで